

規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	「あなたらしさいつまでも」の県民せいきょう福祉理念のもと、ご利用者の生活の質の向上を図るために、生活の中での家事活動や季節にあったイベントを行ったり、月に1度外出行事を行ったりしている。 また、毎月選択メニューでの食事を取り入れ、身体と健康状態を維持するための食生活を大切に、選んで食べる楽しさにこだわりを持って選択メニューの提供を行っている。交流を含めた他部門との全体行事、地域への外出も実施している。
事業所名	鯖江きらめき	管理者	内村 真大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が利用者の趣味や関心を日常の会話の中から探り「～したい」を引き出し実現していく。 「～したい」の実現に向け何が必要かどのようにしていくのかをミーティングで話し合っていく。 ミーティングを継続し利用者の些細な変化にも気づくようにしていく。 	<p>ミーティングで利用者の様子や言動について話し合い、その後の対応に繋がった。月ごとの行事についても利用者の意見をもとに決めて楽しんでもらえるように工夫できた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 大人数での行事ではなく、利用者の思いに合わせて個別や少人数で外出など行っていく。 ミーティングでの共有を継続してきらめき内での活動や外出の仕方など幅を増やしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 家族会や祭りを通してきらめきに入って頂く機会を作っていく。 施錠を行わずにいつでも入りやすい環境を作っていく。 	<p>コロナの関係もあり外部や家族の方がきらめきの中に入ってもらえる環境を作れなかったが面会を受け付け、時間を制限したりリモートなど対策を練って利用者と離れた家族が面会できる環境を作った。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 外部の方と接触の制限がある中で利用者が外に出て楽しみを得る機会を減らさないようにする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もサロンを通して地域の方と交流が出来るように呼びかけを行う。またサロンに利用者も参加する。 ・地域行事に職員が積極的に参加しきらめきの事を知ってもらう。またご利用者と地域の方同士が日頃から関わりが持てるように利用者も一緒に地域行事に参加をしていく。 	<p>地域の人を呼び込むことは出来なかったが状況を見て利用者のみでのサロンを行い、きらめきでの楽しみを持てるようにした。</p>	<p>民生委員ですが（講師として）参加していました。参加できていないためわかりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との交流について感染症対策を取り、サロンの開催や地域行事への参加を試みていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と職員が昼食やおやつを一緒にとり、会話の中から「～したい、～行きたい」と聴く取り組みを行っていく。 ・皆同じ所へ外出するのではなく、興味のあることに少人数で出かけていく。 	<p>隣に座って会話をして季節ごとに何がしたいか聞き取り、行事で出来るものは利用者の声を聞きながら進めていった。 きらめき内でやりたいことを個別に聞き取りをしたり、家事の手伝いなど1対1で接する機会を持つようした。</p>	<p>コロナですから地域に出向く機会がありませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の声を聴いて少人数での外出を行った。 ・感染症対策として接触を少なくしたりと工夫しながら取り組みを行っていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の日程を参加しやすい日に設定し直す。 ・今年度もご家族や地域の方の意見を共有しケア、サービスにつなげていくために管理者だけでなく他の職員も参加できるようにしていく。 	<p>カンファレンスや送迎時に家族から話を聞くようにして、CMだけでなく介護員も家族からの声を聞けるようにした。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議開催のやり方を見直し、リモートなど他の手段でも参加できるようにする。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練にも参加しどのように避難するといったのか、シミュレーションをする。 ・運営推進会議時に訓練を行い家族の方や地域の方にも参加の呼びかけを行う。 	<p>可能な範囲での防災訓練を行った。新人職員や異動してきた職員にも避難経路の確認や災害時の避難の仕方など全職員で再度確認した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練として地震だけではなく、豪雨による洪水避難の訓練も実施し、有事の際に適切な対応ができるように取り組んでいく。